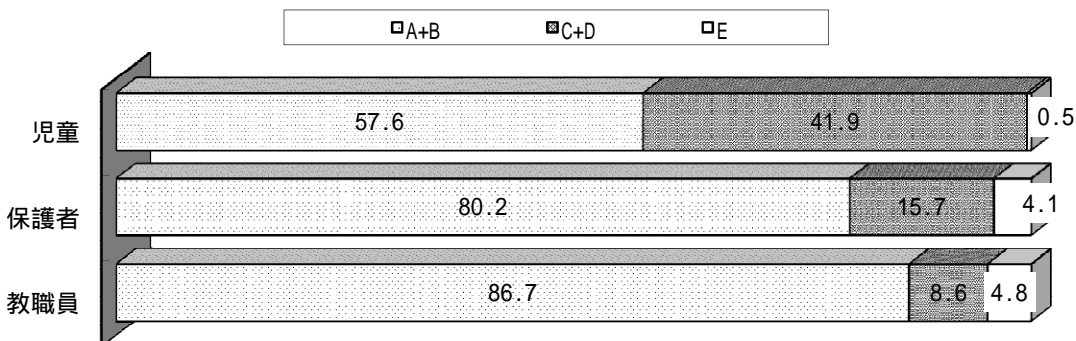


## 5. 読書習慣について

児童 読書をよくする。(マンガ以外の)

保護者 学校は、子どもに読書の習慣がつくよう学校図書館の活用や整備をよくしてくれている。

教職員 学校では、子どもの読書習慣の定着に向けた取組を重点的におこなっている。



### <分析>

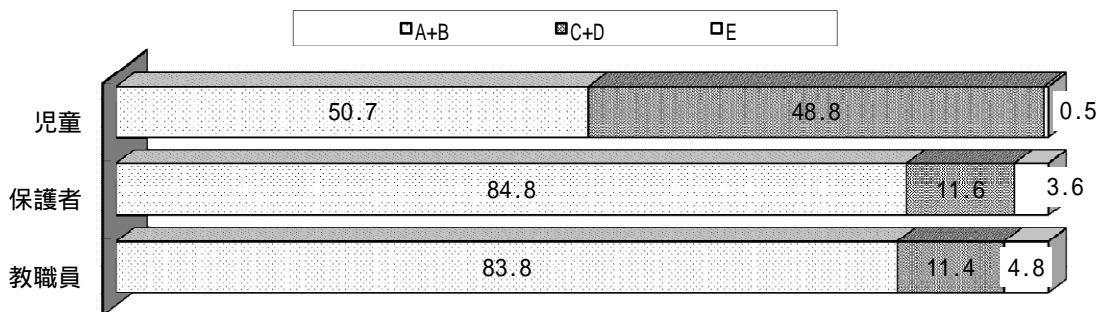
児童の肯定的な回答の割合が低い。全国学力・学習状況調査のアンケート結果においても一日に30分以上読書をする児童の割合が全国に比べ低い状況が見られる。今後読書指導につながる授業づくりや、学校図書館、町立図書館の有効的な活用等を組み込んだ授業形態等を研究推進していく必要がある。また、地域ボランティアの活用や図書委員会活動の充実等、学校全体での組織的な取組を進めていくことが求められている。

## 6. 学校の環境整備について

児童 教室はゴミがなくきれいだと思う。

保護者 教室は整理整頓がなされていてきれいだと思う。

教職員 教室は常にきれいな状態にしようと心がけている。



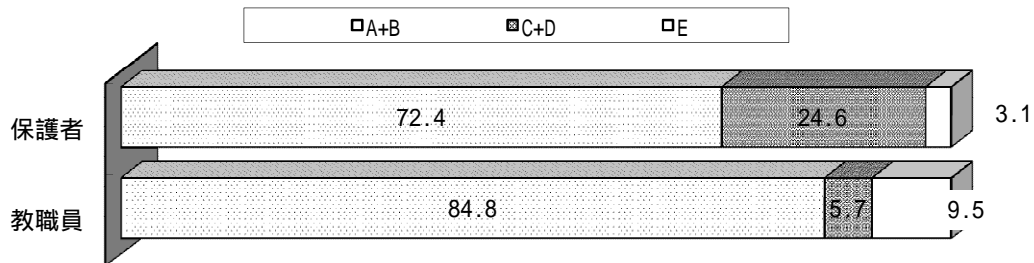
### <分析>

保護者や教職員の肯定的な回答は8割を超えるが、児童の肯定的回答の割合は低い。今後も教室の「整理整頓」や「清掃活動」について日々の指導の充実を図るとともに、落ち着いて学習に取り組める環境づくりについて継続的に取り組んでいく必要がある。

## 7. 学校の通知表について

保護者 通知表はよくわかる。

教職員 この学校の通知表は、児童・保護者にわかりやすく、適切な評価が行われている。



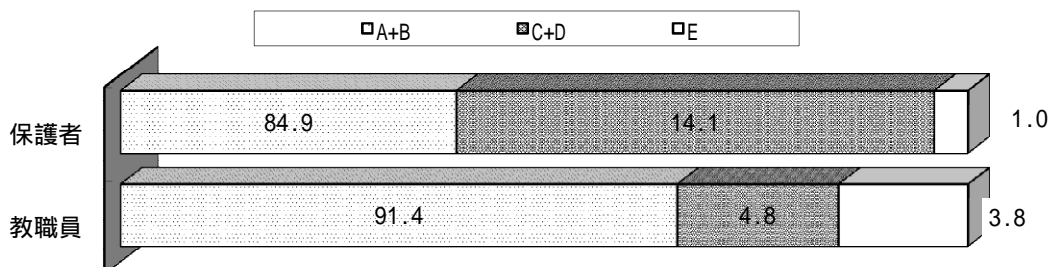
### <分析>

保護者の肯定的な回答の割合は7割を超えており、概ね理解されているものの、保護者と教職員の意識に若干の差がある。今後、各学校とも評価方法等の研究が進められるとともに適切な学習評価、保護者にとって分かりやすい通知表のあり方等のさらなる研究推進が求められている。

## 8. 学校の情報発信について

保護者 お便りなどで学校のことがよくわかる。

教職員 学校では危機対応の情報も含め、保護者や地域に対して情報発信を心がけている。



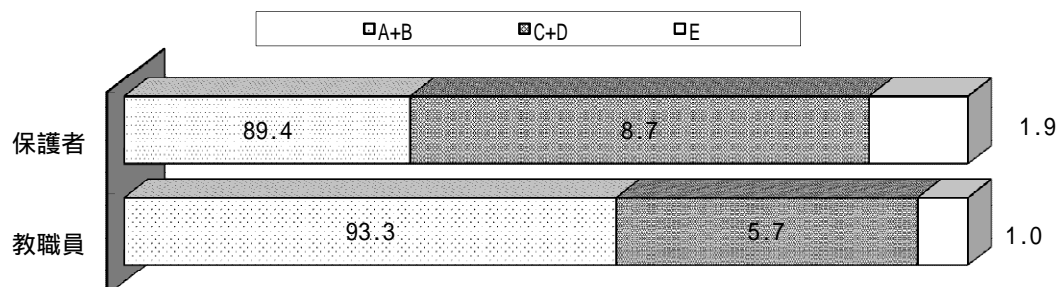
### <分析>

各学校とも自校の教育活動の内容を広く保護者や地域に発信することに努めている。その周知についても、多くの保護者から肯定的な回答を得ていることで概ね良好であると考えられる。

## 9. 保護者や地域との連携について

保護者 学校は、保護者や地域の人たちに授業を公開したり、つながりを深める機会を多く設けている。

教職員 この学校は、さまざまな学校教育活動に対し保護者や地域の方がたの協力や連携が図られるよう努めている。



### <分析>

保護者の肯定的な回答の割合が9割近くと高い。各学校とも積極的に授業公開を行う等、開かれた学校づくりに努めている。それとともに学校協議会や地域の各関係団体とも連携を図りながら、学校と保護者、地域が一体となった教育活動が展開できている。

下線部分は文言の変更又は、新しく加えたものです。